

【 効 果 】

検診が始まった7年度から歯科医療費は減少しており、7年度8,666万7,000円が19年度では4,729万2,000円と45.4%減少した。また1件当たり金額も7年度1万4,387円が19年度には8,977円へと37.6%減少している。

◆ 禁煙支援 ◆

三洋電機連合健康保険組合

【 取組内容 】

独自の「禁煙支援プログラム」を、毎年異なる事業所単位で実施している。全事業所の中から、希望のあった優先度の高い2事業所を選んでいる。定期健康診断日を禁煙開始日とし、健診の約1ヵ月前に禁煙がスムーズに実施できるよう禁煙の準備をするための教室を開催。禁煙開始日とその約1.5ヵ月後に個別相談を実施。さらに禁煙開始日から約3ヵ月後に2回目の教室を開催し、禁煙継続者を職場での禁煙支援者として認定したり、プログラム終了後も禁煙を継続、あるいは再挑戦できるようグループワークを実施している。(約5ヵ月間に教室2回、個別相談2回の合計4回のフォローを実施。)

【 効 果 】

過去3年(15年度～17年度)実施したプログラムを通じて、3ヵ月以上禁煙を継続した人の割合は15年度28.6%から17年度44.4%(15.8%増)と上昇した。

◆ メンタルヘルス ◆

日立国際電気健康保険組合

【 取組内容 】

事業主、健保組合、産業医の所属する大学の共同事業として、18年から3ヵ年計画の「メンタル疾病半減対策」を実施している。1年目は、①メンタルヘルス研修、②職場復帰プログラムに基づいたケースマネジメント(個別面談[1回/月])—を実施。2年目は、保健師を配置して個別面談から次の個別面談までの期間のサポート体制を構築した。3年目(20年度)は、これまでの傾向分析から予防につなげることで、継続的な取り組みとして定着させることとしている。

【 効 果 】

傷病手当金のうちメンタル疾病が占める割合が対策を実施する前年度から大幅に下がっ